

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

リニューアル第1号(平成27年9月1日発行)

発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会

所在地:〒101-0054

東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館

T E L:03-3295-8241

F A X:03-3295-8255

ホームページ:<http://www.jcfa-tyo.net/>

E-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net

発行人:広報委員会

編集人:森山光伸(広報委員)

活動賛助金、
寄付金を
お寄せ頂き
お礼申し上げます。

総会で討議により機関紙のスタイルが変わりました。活動の糧としましょう!今後もご購読お願いします!

都日中2015年度総会を開催

6月27日、四ツ谷の主婦会館において、2015年度の通常総会をおこなった。今回は、認定特定非営利活動法人東京都日本中国友好協会としての第1回通常総会となった。冒頭、物故者に対する黙とうをおこなった。その後、議長選出や総会が成立要件に満たしていることなどを確認した。1年間の事業計画・決算・次年度の事業計画・予算案などを提案し、活発な論議がおこなわれた。今年度は、2年に1回ある役員改選がおこなわれた。



須藤誠新理事長

宇都宮徳一郎会長は留任し、理事長の永田哲二氏に代わって、新しく須藤誠理事長となった。その外の各役員は若干の変更はあったものの概ね留任となった。

12時より同会館において祝賀セレブションをおこなった。冒頭、宇都宮徳一郎会長から「ここへきて日中関係も温かい風が感じられるようになった。午前中

総会をおこない役員も新しくなった。さらに日中友好活動を進めていきたい」と挨拶があった。来賓として、長島昭久衆議院議員から「日中関係が厳しいときも活動は途絶えることがなかった。互恵関係をさらに発展させていきたい」、中国大使館薛劍公使参事官から「新中国が建国された翌年に日中友好協会は創立された。それから絶えることなく交流はすすめられてきた。国民の

間ではこうした民間交流が重要である」、特別区長会会長の西川太一郎区長から、かつて北京・ニューヨークと東京の3都市の少年野球大会を実現したことなどの挨拶があった。その後交流懇談が盛大におこなわれた。

2015年度役員

宇都宮徳一郎(会長)、渡辺道代・尾崎隆信・中野修(以上常務副会長)、上山英介・松原忠義・花川與惣太・三宅進・水島豊・成澤廣修・青木英二・永田哲二(以上副会長)、須藤誠(理事長)、石田昌三九・井上恒弘・奥真理子・吳東富・齋藤成・杉本孝一郎・須山加代子・高野勇一・丸山隆司・森山光伸(以上副理事長)、秋澤文芳・荒井和子・海老澤ひさゑ・笠原敏・金久保綾子・金子宏・川本淳子・木下政明・朽木光晴・小嶋雄二・笹本直衛・杉山政利・竹内彰一・中島菊・西島保治・二ノ宮啓吉・橋本准子・樋口亮一・前田久男・宮内静夫・三好敏・吉川信一・渡辺康生(以上常務理事)、朝妻敏夫・池田禮子・泉実吉・伊藤美代子・伊藤洋平・内田卓志・江邊聰・片岡健・木下伸子・木村成彦・姜全紅・黒田太郎・黄淑柔・坂田和子・佐藤勝・高野慶市・多田英明・多田浩司・玉利幸雄・富澤弘治・戸村啓子・中村瑞子・中村佑・野口廣・橋本晋一・服部豊・平井靖人・廣瀬達志・古島琴子・穂戸田久雄・牧田和也・町田文子・松井啓海・松井幸雄・皆川誠一・宮内紀子・三柳鉄雄・八木章・山下英夫・山本恵司・渡邊洋・渡辺貴美子(以上理事)、柴田好夫・田邊恵三(以上監事)

東京都日中友好協会 秋の市民交流訪中団

協会創立65周年記念



お問い合わせ先

NPO法人東京都日中友好協会

TEL 03-3295-8241

申込締切 9月10日(木)

利用ホテル

北京和平賓館または同等クラス
両コース北京滞在中の日程は同じ。

Bコース

期間 十月二三日(金)～二七日(火)

行程 北京市内・郊外・天津

旅行代金 五十万三千円

(会員)十五万一千円

Aコース

期間 十月二三日(金)～二六日(月)

行程 北京市内・郊外

旅行代金 十三万三千円

(会員)十三万一千円

2015年市民交流訪中団

協会創立六五周年記念

参加者募集

新橋亭での理事会と懇親会

都目中では、認定 NPO 法人となってから最初の第 1 回常務理事会・39 回理事会を 8 月 1 日午前 10 時から新橋亭 2 階会議室で開催した。須藤理事長の司会により理事会成立と議長選出について提案があり、議長には秋澤常務理事が選出された。冒頭、宇都宮会長は「7 月は様々な行事があった。11 日に藤沢市で聶耳を知り偲ぶ会、14 日青少年キャラバン訪日団歓迎会、23 日北京市対友協呂錫文会長一行訪日団歓迎会、また 19~21 日全国本部では丹羽新会長になって北京訪問があった。今年は戦後 70 年、次世代へ向け子々孫々の友好の礎の年にしたい」と挨拶した。議題に入り、中野常務副会長より「委員会・部会の担当と役割について」提案された。具体的には組織概念図の説明、今期の 5 委員会・2 部会・12 実行委員会体制、全国本部と都目中の関係について説明がされた。質疑応答は 4 名あり承認された。次に、須藤理事長より「協会賛助金・寄付金の募金活動

（案）について」提案された。今年 4 月認定 NPO 法人の認可を受けたことにより釀金者に税制優遇がなされることとなった。目



理事会風景

標を 300 万としたいと説明された。質疑応答は 1 名あり承認された。次に、栗山事務局長より 2015 年都目中市民交流訪中団の日程、会員統計表、総会・レセプション収支報告、活動日誌、当面の日程などが報告された。各地区報告、各委員会・部会報告は 9 名から出された。最後に、尾崎常務副会長が閉会挨拶を行い閉会した。

懇親交流会の会場を 3 階に移し催された。新橋亭のご配慮に感謝しつつ、中華料理に舌鼓を打ちながら、日頃会えない理事同士の懇談、各地区・各委員会役員の交流が行われていた。

中国国歌作曲者 聶耳(ニエ・アル)没後 80 周年記念イベントを開催

7 月 11 日、聶耳(ニエ・アル)没後 80 周年記念イベントを開催した。このイベントは中国大使館・都目中主催で神奈川県藤沢市の協力を得ることができた。聶耳は中国の国歌を作った作曲家である。氏は 1935 年 7 月、藤沢市の江の島鵠沼海岸で海水浴中に溺死した。1935 年 5 月に上海で「嵐の中の若者たち」という題名で上映された映画の主題歌「義勇軍行進曲」の作曲者である。この曲は日中戦争を得て国歌に選ばれ、現在の中国国歌となっている。聶耳没後 80 年を迎えるにあたり、「聶耳を知り、偲ぶ会」の式典と記念講演会をおこなった。



献花の様子

都目中参加者は、東京駅に準備されたバスに乗り鵠沼海岸にある聶耳記念碑まで行った。直接会場へ行った人もあった。記念碑の前では、都目中

宇都宮徳一郎会長・中国大使館郭燕公使・藤沢市鈴木恒夫市長などの挨拶があり、参加者による献花をおこなった。



郭燕公使

記念講演は、藤沢市民会館で「歌で革命に挑んだ男—中国国歌作曲者聶耳と日本」という題名で古くから聶耳を研究している東北公益文科大学岡崎雄兒非常勤講師の話だった。岡崎氏の「歌で革命に挑んだ男」(新評論社)も出版されている。記念講演の後、参加者による懇親会もピアノ演奏・中国人参加者による国歌齊唱・中国民族舞踊などもあり、和やかな雰囲気のなかでおこなわれた。

協会創設65周年記念事業 第2回 日中親善ゴルフ大会

日時 9月26日(土)

集合時間 午前8:30時間厳守

(ザザンカ・ケヤキ2コース 各スタート午前9:24

* 現地集合、現地解散)

開催要領

定員 48名(12組)

開会式 午前9:00開会

表彰式 コンベンションルーム

競技方法 新ペリア方式

申込先・問合せ先 認定NPO法人東京都日中友好協会(締切 9 月 10 日)

主催 認定 NPO 法人東京都日中友好協会 全日本華人華僑労働組合総連合

場所 関越ハイランドゴルフクラブ

(上信越自動車道 吉井IC4km)

参加費 1万8千円(プレー代、昼食代、

パーティ代、賞品代含む。

ゴルフ場受付にて参加費徴収。

朝食、昼食時飲物、売店購入は各自負担。)

参加者はどんなものでもよいので景品を1つお持ちください。

参加不参加に係らず景品のご提供は大歓迎です。

申込内容 氏名、連絡先、平均スコア、アクセス方法



北京市青少年キャラバン訪日団歓迎会

7月14日、都庁内において「北京市青少年キャラバン訪日団」の歓迎会をおこなった。キャラバンは、13日羽田に到着。翌日に目黒区日出学園中学校で交流会をおこなった。目黒区と北京市東城区は友好区提携しており、今回の訪日団は東城区の青少年だったため、目黒区での交流となった。日出学園では、バスケットやダンス・茶道などの日本文化も学んだ。一行は、東京・箱根・京都などを見学して、18日に関空から帰国の途に着いた。14日は、都日中主催の歓迎会の冒頭、宇都宮会長より「青少年の交流は、1989年から続いている。目黒区での交流は



北京市青少年
キャラバン訪日団

素晴らしいと聞いている。本当の日本を自分の目で見て帰国し、事実を多くの人に伝えたい。都議会日中友好議員連盟友利会長から「歴史を学ぶことが大切で、歴史を学ばなくては将来の友好はできない」、目黒区青木区長・東京都生活文化局小林局長・中国大使館汪婉参事官などからも歓迎の挨拶があった。食事懇親の後、若いダンスグループ REDWING や竹内万喜子さん

の舞踊、中国から歌や踊りなど和やかで盛大な歓迎会となつた。

北京市対友協代表団 呂錫文会長・田雁常務副会長ご一行歓迎夕食会

北京市政府高級顧問・北京市対友協呂錫文会長、田雁常務副会長ら7名の代表団は、7月23日～26日にかけて東京都の招請で来日され、一行は舛添要一都知事を表敬訪問した。都日中は7月23日18時から新宿の京王プラザホテル42階宴会場において歓迎夕食会を開催し会員ら約80名が一行を迎えた。渡辺常務副会長の司会で始まり、宇都宮会長は「都知事を表敬訪問され、両国首都同士の相互理解と友情を深められたと聞いている。これこそ日中関係改善への首都間代表の輝かしい成果であると高く評価されるものである」と述べ、「市民交流がなければ友好などあり得ない。日中間が比較的回復基調のこのような時こそ、草の根の市民交流を進め建設的な日中友好関係を切り拓く」と挨拶した。呂錫文会長は「北京市・東京都は友好都市となつて36年間様々な民間交流を行い、建設的な大きな成果を果たした」と述べ、「都日中とは民間交流は一度も途絶えたことはない。友好は日中関係の未来のため重要な役割を果たしている」と強調した。代表団が紹介された後、中国大使館友好交流部の汪婉参事官(大使夫人)は「日本にとって、中国は本当に脅威でしょうか? 昨年は240万の観光客、今年上半期で217万人、多くの華僑が在日し、留学生は毎年10万人、技術研修生も毎年145万人、日常生活から感じたのは互恵関係ではないでしょうか?」と述べ、「今後、北京市と東京都の関係が深いレベル

に発展して、大きな利益をもたらすことを期待している」と挨拶した。東京都を代表して多羅尾光陸生活文化局長は、「大家好」と中国語で挨拶し「昨年4月、都知事の訪中以降、両都市間と民間レベルで様々な交流が始まっている」生活文化局は「今年、北京首都博物館館長を江戸東京博物館にお招きしてシンポジウムを計画している。更に、北京市から来た留学生のための寮である太田記念館(杉並区・久我山)が今年25周年を迎えるので王安順北京市長をお招きし、記念事業を予定している」と、最後に「日中友好は大変大切だ。文化交流を始めとして絆を深めたい」と挨拶した。呂錫文会長と宇都宮会長は、なごやかに双方からの贈り物を交換した。全国本部の岡崎理事長は乾杯音頭の前に「20数年ぶりに右翼団体から抗議文が来た。日中国交正常化45周年行事を止めろ、友好協会解体しろと言うもので、却って力が湧いてきた」と挨拶した。出席者たちはそれぞれに旧交を温める懇談を経たあと、出席者全員の記念撮影。最後に、尾崎常務副会長が閉会挨拶を行い、宴を閉じた。



北京市対友協代表団との記念写真

工学院大学孔子学院・認定NPO 東京都日中友好協会共同連続講座「中国問題を読み解く」 9月講座

日本のマスコミと日中青少年交流

講師 段躍中さん(日本橋報社編集長・日中交流研究所長)

9月16日(水) 14:30～16:00

受講料 1,500円(学生 500円)

工学院大学新宿キャンパス中層棟4階 工学院大学孔子学院

お問い合わせ・お申し込み 03-3340-1457



中国大使館での中国映画を鑑賞する会を終えて

7月24日、中国大使館で都日中主催の中国語学習者のための中国映画鑑賞会が開催された。映画は千里走单騎(邦題は単騎、千里を走る)日本映画界が誇る名優・高倉健が、中国の名匠チャン・イーモウと組んだ話題作で、日本人主人公と現地の人々との交流が深まっていく様、言葉が通



中国映画鑑賞会

じない中で、必死に思いを伝える主人公の姿に、友好の原点を見る思いがした。中国大使館は会場を提供してくれたばかりではなく中華点心や飲み物まで用意してくれ、96名の参加者は汪婉参事官や王磊書記官を始めとする中国大使館の暖かいもてなしに感謝の拍手をおくった。(中国語普及委員会:須山)

「中国問題を読み解く」6月講座 知財大国に成長した中国と日本の知財戦略の課題

孔子学院と都日中共催で「中国問題を読み解く」の講座をおこなっている。6月17日の講座は、現在中国で問題となっている知的財産権を中心に「知財大国に成長した中国と日本の知財戦略の課題」をテーマに中国総合研究交流センターフェローの馬場鍊成氏に話してもらった。氏は1999年中国を訪問、その後中国ウォッチャーになることを決意。中国の知財について研究し、「中国ニセモノ商品」(中公新書)、「変貌する中国の知財現場」(日刊工業新聞)の著書がある。知財とは、特許権・実業新案・意匠権・種苗権・商標権などがある。ノウハウや顧客リストの盗用などの不正競争を規制する知財もある。現在多く出回っているスマホもおそらく1万5千件くらいの知財が含まれており、知財の塊といつてもいいだろう。自動車に至っては、5万件くらいの知財があり、船やタンカーは5~6万件くらいの知財がある。PCでも8千~1万件くらいの知財がある。車のデザインは意匠法によ

って守られており、音楽や映画などは著作権で保護されている。中国はニセモノ大国といわれているが、ここへ来て急速に技術力をつけてきている。今や知財保護活動も世界のトップにのしあがってきた。同時に知財訴訟も日本の10

倍以上になった。弁護士も日本の7倍もいる。中国は世界中に特許を出願しており、徹底した知財管理体制も整理してきた。こうした時代の変化を認識していくかなくてはならない。世界はかつてないスピードで変革している。知財問題もそれとともに進んでいる。日本は再び世界に向かって羽ばたかなくてはならない。その意味からも急激に技術力につけてきている中国と協調路線をとることが不可欠である。



馬場鍊成氏

「中国問題を読み解く」7月講座 人生を豊かにする四字熟語

7月15日の講座は、「人生を豊かにする四字熟語」について、ジャーナリストの堀内正範氏の話だった。「四字熟語」は先人がなした故事を後人が人生の叡智として記憶し記録したものである。「一知半解」とは知ったかぶりに近いだろう。「青黄不接」とは青々として実にならない。実るのを待っていてつながらないということ。「一衣帶水」とは往来に支障とはならない一条の帶ほどの河水である。「乱点鴛鴦」鴛鴦(おしどり)は昼間番で生活するが、

夜になると方々から集まってきて集団で夜を過ごし、そこで新しいパートナーを探す。朝になるとツガイとなるが、前日の番とは違ひ夜に探したパートナーと一日を過ごす。中国ではもっともオシリドリは浮気な鳥であるという。日本と中國とで違う四字熟語の話などもあった。



堀内正範氏



中国北方昆曲剧院日中友好文化藝術交流公演
昆劇名作精選公演
世界無形文化遺産
観覧者募集!
ご氏名ご住所・電話番号・FAX番号・必
要枚数を明記の上、東京都日中友好協会
までお申し込みください。
会場 共立講堂(神保町)
締め切り 9月11日(金)
開場 17時半
終演 20時
開演 18時
日時 9月18日(金)
入場協賛金 3,000円
(会員特別価格 2,700円)
お申し込み
会場 梅窓院(東京メトロ銀座線外苑前)
応用クラス(毎水曜日 全20回)
10月7日~3月9日(3000円)
東京都日中友好協会 03-3205-8241
FAX 03-3205-8241

中国語教室開講のお知らせ

初級クラス(月2回 木曜日)
10月8日~3月10日(15000円)

中級クラス(毎火曜日 全20回)
10月6日~3月8日(30000円)

応用クラス(毎水曜日 全20回)
10月7日~3月9日(3000円)

会場 梅窓院(東京メトロ銀座線外苑前)
お申し込み
会場 東京都日中友好協会 03-3205-8241

葛飾区日中総会

葛飾区日中は5月 29 日、金町「二葉会館」で 2015 年度総会を開催、約40名が参加した。葛飾区は北京市豊台区と20年以上の交流があり、今年2月3日には冀岩豊台区長、4月 15 日には楊芸文豊台区委員会書記を迎える、区内の環境関連施設及び老人福祉施設を案内し行政及び議会と親しく交流した。山海保会長は総会挨拶で、豊台区との交流は青木区長が精力的に動き、積極的交流が進んでいる。葛飾日中としても友好活動を行政と共に盛んにしたい、今後特に若い戦力を充実させたいと述べた。総会に出席した青木区長は、総会の祝辞を述べるとともに、昨年は東京都の訪中団とともに北京を訪問し、その際豊台区を訪問し副区長の熱心な案内で豊台区内施設を視察したことを見た。自身の感想として豊台区の方々とは、日中間の政治的交流の停滞を忘れてしまうほど親しく交流できる。国と国の交流も大事であるが、同じくらい人と人の交流も大事でありそれが真の日中の友好を促進する。今後も機会をとらえ中国を訪問

したいと述べた。また葛飾区には外国人が 1 万5千人ほど在住しその半数が中国人である。協会の協力を願いたいと述べた。総会議事は服部博会計理事の司会にて進行、松丸重蔵理事長が平成 26 年度事業・収支報告を行い、また平成 27 年度事業計画・予算案、役員補充案を提案し、いずれも承認された。懇親会では講談師・嫩子さんによって「三方ヶ原軍記(古典)」が勇ましく披露され、またいつものように地元選出の平沢勝栄衆議院議員、いずみ武彦都議会議員が会員として懇親会にかけつけ区日中を励ました。(葛飾区日中 前田久男)



葛飾区日中総会

豊島区日中第27回通常総会

豊島区日中友好協会第27回通常総会は例年より1ヶ月遅れて6月22日(月)午後 5 時 45 分豊島区立勤労福祉会館会議室で高野豊島区長、宇都宮都日中会長、須藤常務理事(当時)、栗山事務局長のご出席の下開催され、審議の後議案は全て承認された。終わりに高野豊島区長から「在区中国人との共生、豊島区日中との連携の重要性」についてお言葉を戴いた。閉会に当たり尾崎会長から総会開催が遅れた理由に触れ「この1ヶ月間、機関紙購読について正副会長会、常務理事・理事会に計り検討を重ねてきたが、両会ともに満場一致で引き続き機関紙購読を以て会員の条件とする旨の採択を得た。日中友好協会の会員であることの更なる自覚と誇りを持って共に活動して行こう」との挨拶があった。会場を中華料理の永利本店に移し懇親会(45名出席)が催され、来賓の村上区議会議長、里中日中議連会長からそれぞれご祝辞を、宇都宮都日中会長からは「日中関係も改善の兆しが見えてきた。これを追い風に一層の民間交流を推

し進めていく」との力強いお言葉と豊島区日中の活動に期待する旨のご祝辞を戴いた。中国大使館からは瀕建国参事官、王磊書記官が見え、瀕参事官からは「留学中には池袋の永利本店へは何度か来たことがあり懐かしい」と想い出を交えたお言葉を戴いた。齊木豊島区観光協会会长の乾杯発声で和やかに懇親会が始まった。会は来賓のご紹介、協会会員と日中議連(17 名出席)のユーモア溢れる自己紹介へと続いた。この一年少ないながらも若い方の入会(現役大学生 2 名含む 5 名)があり華やかにできたように思われる。また立教大学中国人留学生学友会会长の王功熙君にも出席戴き若手同士の交流に話が盛り上がっていた。午後 8 時 30 分、海老澤副会長の閉会の辞で宴たけなわの内に会は終了した。



豊島区日中総会

第18回 東京都日中友好 囲碁交流大会＆懇親会

11月14日(土) 参加者募集!

第1部 対抗戦

日本チームと中国チーム各 30 名程度

12 時半(受付)13 時~17 時 10 分

於 日本棋院1階ホール 千代田区五番町7-2(市ヶ谷駅下車 2 分)

申込先 認定NPO法人東京都日中友好協会

第2部 懇親会

17 時 40 分~19 時 10 分

会費 3,000 円 (第1部込み)受付時に徴収

申込方法 EメールかFAX (E-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net F A X:03-3295-8255)

申込内容 氏名・住所・連絡先・段位(初段以上の方)

お問い合わせ先 認定NPO法人東京都日中友好協会



渋谷区日中総会

7月12日(日)10時より渋谷区リフレッシュ冰川において、渋谷区日中友好協会の2015年度定期総会を実施。長谷部健渋谷区長、木村正義区議会議長、丸山高司日中議員連盟会長、大津ひろ子都議会議員などの来賓と多数の会員が参加。2014年度の活動経過と決算、2015年度の活動目標と予算を承認、役員の改選も行われ、このたび副会長に就任された卓球元世界チャンピオンの栗本キミ代さんからは、1961年に北京で実施された第26回世界卓球選手権大会以降の周恩来首相との関係についての次のような話があった。当時、日本の卓球は世界一で、北京で実施された世界大会では観客からの声援はほとんどない状況だった。しかし準決勝でハンガリーの選手とあたった際に、はじめの1ゲーム目は勝ったが、2ゲーム目は負けてしまった。そのころから観客の中から栗本さんにも拍手が出るようになったという。結局そのまま3ゲーム目も負けてしまい準決勝敗

退となったが、試合終了後に相手のところへ行って挨拶をしたところ、1万5千人の観客から拍手をもらえた。その様子を周恩来総理が見ていたようで、帰国前の送別会の際には、「栗本さんは中国人民に深い印象を残した。



松岡定俊会長

準決勝で負けたが、あなたが一番です」と言られた。その後も周総理に中国へ招かれるなど私生活の面での交流が続いたということだった。午前中に総会が終わり、午後1時30分から「講演と映画のつどい」があり、60名ほどの参加があった。講演は、工学院大学孔子学院の西園寺一晃学院長で、日中関係の歴史的背景と今後の展望についての話だった。映画は、金魚池という北京市の再開発とそこの住民の物語だった。

愛心日本語・中国語会話教室 西東京市日中

毎年新たな留学生を迎える、西東京市田無イングビル会議室にて、毎月3回土曜日マンツーマンで会話教室を開催。中国留

学生との心の絆を深めている。参加留学生には西東京日中より奨学謝礼が出る。(西東京市日中 前田久男)

西東京市日中 青梅市日中との交流会

8月2日(日)、地区協会の親睦と協力を目的に創立31周年の青梅市日中を訪問。早稲田大学大学院留学生・林育仁さんも留学生代表として参加。青梅市日中・小澤恒夫名誉会長、山下英夫会長を囲んで小澤邸の庭で記念撮影後、小澤酒造を見学。料亭「ままごとや」で会談しながら昼食、「沢乃井」の銘酒を大い

に味わった。その後、木下政明事務局長の案内で「寒山寺」「櫛かんざし美術館」を見学、多摩川の清流沿いをハイキングし、最後に「玉堂美術館」を訪問、さわやかな自然の中での楽しい交流の一日だった。(西東京市日中 前田久男)

第2回日中友好秋季セミナー東京参加者の募集

2015.11.7～11.8 パレスホテル箱根

参加費用 3000円(現地まで貸し切りバス)

参加条件 20,30代の会員

詳細は東京都日中友好協会まで

Panda杯 全日本青年作文コンクール2015

参加者募集

テーマ隣人「中国」と私

応募資格 16～35歳の日本人

応募期間 2015.6.1～2015.9.25

文字数 1200～1600字

主催 人民中国雑誌社

中華人民共和国駐日本大使館

公益財団法人日本科学財団

問合せ先 人民中国雑誌社 東京支局 応募係

詳細は「Panda作文コンクール」検索してください。



第22回

ふくろ祭りで国際交流おみこしを担ごう!

2015.9.27(日) 15時集合 池袋勤労福祉会館

学生 1000円 一般 2000円

詳細は「OMIKOSI OMATURI PARTY」を検索してください。

協力団体として東京都日中友好協会が加盟



西東京市日中・愛心教室



西東京市日中交流会

寄附金・賛助金をくださった方々(8.20現在、順不同)

斎藤成、池田禮子、坂田和子、海老澤ひさゑ、町田文子、丸山隆司、泉実吉、川本淳子、二ノ宮啓吉、佐藤勝、玉利幸雄、高野慶市、宇都宮徳一郎、中村瑞子、牧田和也、渡辺康生、平井靖人、須藤誠、高野勇一、原環、井垣清明、町田久、安部東明、杉本一郎、桑名英雄、株式会社ジャパンエンタープライズ、鈴木美緒、鈴木眞樹、町田忠昭、臼井芳雄、田一輝、岡嶋昭治、滝沢春子、伊藤春雄、高島康子、百田弥栄子、宮崎幸夫、宮崎みゆ子、三枝英夫、鈴木隆司、笠川耕一、西田充、赤津信男、鈴木静香、大塚順子、大井恵美子、木村将、吉田幸雄、須藤利子、古島淳、高野衛東、近藤秀将、唐橋博、宏輝(株)

ご協力ありがとうございました。

後記:ご意見、ご要望等お待ちしています。(森山)